

里山歳時記 田植えキャンプ

- 開催日 2018年6月2日
- 会場 国際自然大学校 日野春校（山梨県北杜市）
- ディレクター名 鷲田 晋（ワッシー）

■キャンプのねらい

●田植えを通じて、食べ物を作る大変さを体験し、食べ物を大切に作る心を育む。

■同行スタッフ（キャンプネーム）

あんでい、やっち、まっく、きのこ、しお、ほっそー

■活動内容

<午前>
集合、
田植え
昼食（諏訪神社にて）

<午後>
田植え
ふりかえり



最初に田植えに必要な「苗取り」の方法を教えてくださいました。



小さいお子様は、お父さんと一緒に植えました。



親子で、植えるタイミングがぴったりでした。



お昼ご飯は近くの諏訪神社で。野外で参加者同士の会話も弾みました。



午後も引き続き田植え。植える手つきも様になっています。



植えた田んぼをバックに記念撮影。

■キャンプのエピソード

道草の楽しみ

日野春校から田んぼまでの道のりは徒歩で約15分。長いようですが、その道のりが参加者にとってはとても楽しいようでした。綺麗に手入れされた庭に感激したり、畑に植えてある作物を親子で確認したりと、話題がつきません。ヨモギの葉の匂いを直接かいだり、マムシ草の花の形にびっくりもしました。ついっかり栗のイガに触れてしまった子もいましたが、それも含めて自然を大満喫した1日でした。

お米作りも子育ても同じ

最後のふりかえりの時間に、田植えを指導いただいた長坂ファームの方からお話をいただきました。「田植えをした後、皆さんは稲刈りまでお見えにならないが、もし継続的に稲の成長を見たいのなら、苗を少しわけてあげるの、発砲スチロールの箱などで育ててみてください。育てるコツは我が子を育てるのとおなじ。いつもお米のことを考えていれば、暑さ寒さによってやることは、自ずと見えてきます」。お米作りから子育て論へと話はおよび、一同敬服いたしました。